

平成17年度の輸送実績（速報）

平成18年4月

1. 輸送概況

平成17年度は、7月から9月にかけて地震、台風、集中豪雨など自然災害の影響を各地で受け、列車の遅延・運休を伴う輸送障害が繰り返し発生した。また、12月から2月にかけては、東北及び日本海側を中心に、記録的な豪雪に見舞われ、特に年末の寒波・豪雪では、各交通機関とも輸送が寸断され、「越年滞貨の解消」と「石油製品の安定確保」の緊急要請を受け、年末から年始にかけて、急遽、コンテナ及び石油列車等100本の列車の復活運転を行った。また、12月25日に発生した羽越線での旅客列車の脱線・転覆事故の影響により、同線は25日間に亘り不通となり、この間、迂回列車の運転の他、トラックによる代行輸送を実施し、輸送力の確保に努めた。なお、年間を通しての列車運休本数は高速貨1,645本、専貨87本となった。

荷動きについては、景気の緩やかな回復傾向の他、モーダルシフトによる新規増送が一部にあったものの、度重なる輸送障害等による他モードへの転移もあり、輸送量全体では**前年比100.2%**の3,711万トンにとどまり、昨年度の新潟県中越地震の影響を考慮すると、全般的にはやや弱含みの実績であった。

コンテナ貨物では、積合せ貨物等及び化学工業品が前年を下回ったものの、車扱からのコンテナ化により増送となった紙パルプ等の他、北海道を中心に米の輸送が好調であった農産品、並びに東海地区を中心に年間を通して好調に推移した自動車部品等が前年を上回り、**前年比101.7%**の2,235万トンとなったが、年初計画を大幅に下回る結果となった。

車扱貨物では、2月から3月の気温が高めに推移した影響により、年度末に出荷が急速に落ち込んだ石油が前年を下回った他、ISOコンテナ輸送へシフトが進んだ化学工業品、並びに一部区間で輸送終了となったセメント等、すべての品目で前年を下回り、**前年比97.9%**の1,476万トンで、ほぼ計画どおりの結果であった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	平成17年度		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	22,358	21,981	101.7%
車 扱	14,761	15,075	97.9%
計	37,119	37,056	100.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	1,123	995	128	112.9%
	生野菜青果物	935	938	-3	99.7%
	化学工業品	2,128	2,170	-42	98.1%
	化学薬品	1,759	1,674	85	105.1%
	食料工業品	3,381	3,383	-2	99.9%
	紙パルプ等	3,618	3,464	154	104.4%
	他工業品	1,569	1,514	55	103.6%
	積合せ貨物等	2,515	2,589	-74	97.1%
	自動車部品	632	518	114	122.0%
	エコ関連物資	428	478	-50	89.5%
	そ の 他	4,272	4,258	14	100.3%
	コンテナ計	22,358	21,981	377	101.7%
車 扱	石 油	9,480	9,623	-143	98.5%
	セメント	1,274	1,287	-13	99.0%
	石 灰 石	673	676	-3	99.6%
	車 両	1,555	1,595	-40	97.5%
	紙・パルプ	480	485	-6	98.9%
	化学工業品	553	592	-39	93.4%
	そ の 他	745	817	-71	91.3%
	車 扱 計	14,761	15,075	-314	97.9%
合 計	37,119	37,056	62	100.2%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)